

第 11 回ぐんま絹遺産登録内容

登録名称「下城弥一郎・森村熊蔵の碑」

伊勢崎織物の発展に大きく貢献した下城弥一郎及び森村熊蔵の功績をたたえる記念碑。明治43年に伊勢崎織物協同組合の敷地内に建てられた。組合は、伊勢崎織物の発展のために、研究努力を重ねてきた両者に対し、翌明治44年に第1回功労者表彰を行うとともに、碑の除幕式を行った。碑文には、両者がそれぞれの人生をかけて伊勢崎織物を発展させるべく取り組んできた、団体組織への貢献、染色技術の向上、機械の工夫改善等の功績が事細かに記載されている。(伊勢崎市指定史跡 昭和42年2月15日指定)

下城 弥一郎 (嘉永6年(1853年)～明治38年(1905年))

粗悪な製品を防ぎ伝統的で良質な伊勢崎織物を復活させることを目指し、明治14年に伊勢崎太織会社(後の伊勢崎織物同業組合)の設立に関わった。また、染色技術の向上が重要であることに気付き、染織講習所(後の県立伊勢崎工業高等学校)を設立し、染色技術の向上、技術者の育成に努めた。

森村 熊蔵 (嘉永3年(1850年)～明治30年(1897年))

伊勢崎市境上武士(旧境町上武士)の農家兼紺屋を営む家に生まれる。明治14年に織物製造業を始め、20年に日本織物株式会社の設立に関わった。明治24年に初めて絹紡績を使用するなど原料糸の改良を進め、安価な絹織物の大量生産を図った。無伸縮の縮緬を開発して海外向けの輸出織物の生産も行った。

(参考) ※2基ともに

- ・碑石：高さ370cm、幅150cm、厚さ15cm(仙台石)
- ・台石：高さ80cm、幅240cm、奥行150cm(花崗岩)

■所在地

伊勢崎市曲輪町31-1

■公開時間

午前9時～午後4時 ※土日・祝祭日・年末年始を除く
(伊勢崎織物組合の営業時間)

■問合せ

伊勢崎市教育委員会文化財保護課(担当者:宮澤)

TEL 0270-75-6672

